



令和7年度長寿犬猫優良飼養者表彰

長寿犬優良飼養者

市町名	飼養者	犬の名前	犬の年齢
米原市	宮部真夕	リッキー	18歳4ヶ月
大津市	中居紗知子	チャチャ	17歳10ヶ月
湖南市	井上 茜	李(スモモ)	17歳6ヶ月
大津市	奥田 高広	りゅうのすけ	17歳3ヶ月
草津市	松下七恵	eco	17歳3ヶ月
長浜市	山崎 勝則	ココ	17歳2ヶ月
草津市	久下 ひとみ	コタロウ	17歳1ヶ月
大津市	岡野 洋子	ラッキー	16歳11ヶ月
長浜市	浅見 和彦	チャミ	16歳10ヶ月
大津市	日花 京子	みつきー	16歳10ヶ月
野洲市	岡本 英嗣	ゲン	16歳9ヶ月
大津市	山本由起江	チヨコ	16歳8ヶ月
守山市	杉村 康一	チヨコ	16歳7ヶ月
大津市	片岡 憲昭	ジャック	16歳7ヶ月
大津市	野田 幸夫	くう	16歳7ヶ月
高島市	岡田 容子	ごま	16歳6ヶ月
彦根市	横田 雅弘	ホッピー	16歳5ヶ月
大津市	久世 哲也	コロ	16歳4ヶ月
大津市	松下 笑佳	いちご	16歳4ヶ月
大津市	井上 裕規	イチ	16歳3ヶ月
大津市	長澤 裕子	クッキー	16歳3ヶ月
大津市	藤田 泰雄	ネル	16歳1ヶ月
大津市	中野 正樹	ゆず	16歳0ヶ月
大津市	北村 英耕	レティシア	14歳0ヶ月



『地域猫』は地域環境保全の観点から、飼い主のいない猫に不妊手術を施し、地域の有志の方々が、餌や、排せつ処理等、近隣に迷惑が掛からないように配慮しながらお世話をし、地域住民の認知と合意が得られる管理下のもとで猫たちに生きるチャンスを与えるものです。この活動は徐々に広まりを見せ、野良猫の数が減ってきている等の成果が出てきている地域もあります。毎日、猫のお世話をしてくれる方々のご苦労には、頭が下がる思いですが、地域猫といえど外で暮らす猫です。他人の庭や畠で排泄したり、荒らしたりすることもあるでしょう。猫が苦手な方もおられます。地域猫のお世話をされる方は、猫の苦手な方もおられることを気にかけていただき、また、猫が苦手な方は、猫が寄らないよう自衛の策をとるなどして、お互いの気持ちに寄り添っていただければと思います。

長寿猫優良飼養者

市町名	飼養者	猫の名前	猫の年齢
長浜市	上村 和幹	ナナオ	21歳2ヶ月
湖南市	三浦 良介	デール	21歳1ヶ月
大津市	山井 木綿子	ピョン	17歳2ヶ月
長浜市	西川 嘉一	コジ	17歳2ヶ月
大津市	兎澤 香	わび	17歳1ヶ月
大津市	簸 明子	すず	17歳1ヶ月
大津市	森田 明子	クッキー	17歳1ヶ月

家族の一員として、長年にわたり愛情と責任をもつて適正に飼養されている模範的な飼養者の方々に『長寿犬・猫優良飼養者表彰』を行いました。

今年度は、長寿犬24名、長寿猫7名の方を表彰しました。犬は、16歳以上で「30kg以上の大型犬は、14歳以上です。猫は、17歳以上となっています。長寿犬は、動物病院や市町からの推薦で、長寿猫は、動物病院からの推薦で表彰しています。

●最長寿犬飼養者●



米原市 宮部真夕さん
犬の名前 リッキー
年齢 18歳4ヶ月

●最長寿猫飼養者●



長浜市 上村和幹さん
猫の名前 ナナオ
年齢 21歳2ヶ月

わんにゃん広場

No.119

令和7年12月1日
(一財)滋賀県動物保護管理協会
滋賀県湖南市岩根136-98
☎0748-75-6522



動物愛護のつどい 令和7年9月21日(日) 守山市民ホール

最初に、長寿犬・猫優良飼養者表彰式を行いました。(P4参照)
後半の部では、「ペットの防災対策～飼い主力と防災力をUPしよう～！」と題して、NPO法人ANICE(アナイス)理事長の平井潤子さんより講演いただきました。平井さんは、2000年の三宅島噴火災害での活動をきっかけに被災地での調査や救護活動に従事されてきて、被災地の動物たちと飼い主の様子の写真を交え、被災地での事例などを紹介していただきながら、ペットを同行しての避難の課題についてお話しいただきました。

<自分が生き残ること>

大事なことは、自分が生き残ることです。飼い主さんがいないと、ペットを守ってあげられません。飼い主が無事で家族も無事、ペットも無事でいるという目標を持っていただけたらいいと思います。そのために、皆様が生きる防災力上げることが大事です。



<備えること>

発災直後にペットだけ家にいる時は、同行避難できません。留守番している場合は、安全かどうかが問われます。安全かどうかを確認しておきましょう。

流通が遮断してしまえば、自分が生き残っても、物が来ないことも起こってきます。

自治体の支援が来るまでに、自分たちがどう乗り越えるかを考えなくてはなりません。

一週間分の餌や水とかペットシーツやキャリーバッグなど避難セットを用意されていますが、流通が止まってしまったら、本当に一週間分だけいいのという疑問が残ります。



飼い主力と防災力をUP アップ

<判断力を高める>

川崎市でマンションの1階の人が、浸水被害でペットと共に亡くなっています。マンションの一階に住んでいれば、2階に避難するとかすれば助かっていたかもしれないのです。自分で判断して、行動することができるということが大事です。

どうすればいいか自分で判断して生きるということ。自分たちで避難した人は、自治体が避難した避難所に行かなくても自分たちが探した避難場所や有志の人が用意してくれた避難所に避難しています。

台風の時にペットと同室同居で避難したいので、高台のペット宿泊可のペンションを予約してそこで避難している飼い主さんもいました。

台風が行き過ぎるまでの一晩だから車で商業施設の立体駐車場の上の階に行って、トイレは店舗のものを使い、犬と一緒に車の中で避難して朝になつたら、下に降りて、料金を払って帰ったという人もいます。自分で考えてそのようにするというのは、すごく大事なことだと思います。

<助け合うこと>

避難所では、お互いに助け合っていてほしいです。見守りなんかもお互いに協力していただきたい、要配慮者にも対応していただきたいと思います。

自分が被災者になった時に支援を受けるばかりなのか、自分の力で地域を復興していく気持ちを持てるのかということが大事なのかなと思います。私たちは、過去の災害に学ぶことができます。

これまで災害での教訓を生かして備えていただきたいと思います。



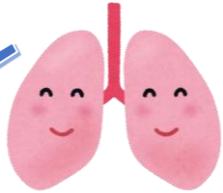
動物病院の先生の健康シリーズ vol.16

こにし動物クリニック
獣医師 小西正浩

呼吸が苦しそう？ ~犬や猫の「呼吸器疾患」~ 早めに気づきたい「呼吸器疾患」のサイン

見逃さないで。
ちょっとした変化

こんにちは。こにし動物クリニックの獣医師 小西です。
今回は、犬や猫の「呼吸器疾患」についてお話しします。



呼吸器ってどんなところ？

「呼吸器」とは、空気の通り道である鼻・喉・気管・肺などをまとめた言葉です。
このどこかにトラブルが起こると、呼吸がしづらくなったり、咳や鼻水が出たりします。
私たち獣医師の世界では、上部（鼻・喉）と下部（気管・肺）に分けて考えることが多い
です。

⚠こんな症状は注意！

呼吸器の病気は、初期は「ちょっとした変化」から始まります。
次のようなサインが見られたら、早めの受診をおすすめします。
鼻水やくしゃみが続く

咳が出る、特に夜や興奮時に多い

呼吸が荒い、苦しそう（口を開けて呼吸する・お腹が大きく動く）

声がかずれる、鳴き声が変わった

運動を嫌がる、すぐに座り込む

鼻血が出る、または顔の片側だけ腫れている

「なんとなく息が荒いだけ」と思っても、肺炎や気管虚脱、心臓病などが隠れています。
早期発見できれば、内科治療や生活環境の工夫でコントロールできるケースも多いです。



肺 呼吸器の病気の一例

犬では「気管虚脱」「慢性気管支炎」、猫では「喘息」「慢性鼻炎」などがよく見られます。
また、シニア期になると腫瘍や肺水腫などの病気も増えてきます。
早期発見できれば、内科治療や生活環境の工夫でコントロールできるケースも多いです。

🏠飼い主さんができるチェックポイント

日常の中で次のような点を意識してみてください。

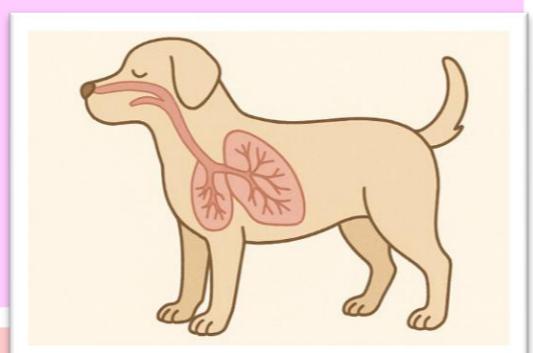
呼吸の速さ（安静時に1分間で25回以上なら要注意）

咳の有無や出方（朝だけ？夜中だけ？運動後？）

呼吸時の音（ゼーゼー・ヒューヒュー・ゴロゴロ）

体重の変化（痩せてきた、太ったなど）

エアコンの風や花粉・タバコなどの環境刺激がないか
これらの記録を診察時に伝えてもらえると、
診断の手がかりになります。



最後に

呼吸器疾患は、命に関わることもある大切な病気です。
「おかしいな」と思ったら、早めにご相談ください。
私たちは、ご家族の大切な時間を守るお手伝いをします。



- ペット名 朔（さく）、温（おん）
- エピソード 「こんな大きい子産んだかしら？」

柴犬の温（おん）は繁殖引退犬6歳まで繁殖をがんばって、我が家にやってくれました。これからはのんびり、と思いきや大きな弟が待っていました。まだまだゆっくりはできなさそうね。



- ペット名 TANU
- エピソード 「食べちゃうぞ！」

繁殖引退犬のTANU。初めての雪の日、雪だるまを作ったら、大きなお口でパクリ。

保護された時に歯周病がひどく、全抜歯されたので歯がありません。

それでも食べるの大好きです。

ペット防災対策講習会

10月25日（土） 草津川跡地公園ai彩ひろば教養室



地震、水害、山火事、台風、など様々に発生しています。
災害が発生する前の備えや心構え、発生後に想定される状況など、過去の災害に学び、どう備えたらいいのかなどを
お話をしました。参加者の方から、「参加してよかったです」
「忘れてしまいかちになるので、毎年開催して欲しい」等
の感想もいただきました。